

令和5年度有明の丘研修（第1期）の実施

1. 実施計画（開催方法、期間等）について
2. 演習の実施方法について
3. 演習受講者の人的交流促進の手法について

1. 実施計画（開催方法、期間等）について

●開催方法

令和2～4年度は講義・演習ともオンラインで実施してきたところであるが、令和5年度第1期有明の丘研修は、演習を対面で実施する。なお、講義については、引き続きオンラインによるオンデマンド方式で実施する。

令和2～4年度
対面での演習開催は不可

オンデマンド講義
(オンライン)

+

リアルタイム演習
(オンライン)



令和5年度～
十分な感染症対策をしたうえで
対面での演習を再会する

オンデマンド講義
(オンライン)

+

集合演習
(対面)

●開催期間

令和5年度「有明の丘研修」第1期は、下記の期間に開催する。

防災基礎 : 令和5年8月21日(月)～令和6年3月31日(日)

※ 令和5年度から「有明の丘研修」の応募には防災基礎の事前受講が必須となるが、令和5年度は移行期間として防災基礎の同時受講（各コースLMS開始までに受講完了する）を可とする。

オンデマンド座学 : 令和5年 9月11日(月)～10月22日(日)

対面演習 : 令和5年10月 5日(木)～10月19日(木)

● 研修開催スケジュール

		8月										9月										10月																																																				
		21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日			
1	①防災基礎 オンデマンド講義 (LMS)	※通年受講可																																																																								
	④応急活動・資源管理 (実務担当) オンデマンド講義 (LMS)	演習	復習期間																																																																							
	④応急活動・資源管理 (一般管理) オンデマンド講義 (LMS)	演習	復習期間																																																																							
	⑤被災者支援 (実務担当) オンデマンド講義 (LMS)	演習	復習期間																																																																							
2	②災害への備え (実務担当) オンデマンド講義 (LMS)	演習	復習期間																																																																							
	②災害への備え (一般管理) オンデマンド講義 (LMS)	演習	復習期間																																																																							
	③警報避難 (実務担当) オンデマンド講義 (LMS)	演習	復習期間																																																																							
	③警報避難 (一般管理) オンデマンド講義 (LMS)	演習	復習期間																																																																							
	⑥復旧・復興 (一般管理) オンデマンド講義 (LMS)	演習	復習期間																																																																							
	⑥復旧・復興 (実務担当) オンデマンド講義 (LMS)	演習	復習期間																																																																							
3	⑨人材育成 (上級管理) オンデマンド講義 (LMS)	演習	復習期間																																																																							
	⑩総合監理 (上級管理) オンデマンド講義 (LMS)	演習	復習期間																																																																							
	⑧対策立案 (上級管理) オンデマンド講義 (LMS)	演習	復習期間																																																																							
	⑦指揮統制 (上級管理) オンデマンド講義 (LMS)	演習	復習期間																																																																							

■	上級管理向け
■	一般管理向け
■	実務担当向け

- 職位別(実務担当向け／一般管理向け)の演習は**午前／午後**に分けて実施
- 職位別パッケージ、地域防災マネージャーパッケージの受講者が演習に出席しやすいよう災害対策5コースと組織運営4コースを**連日で設定**

● 演習の実施方法について

	午前の部	会場	午後の部	会場	講師
8:30	受付・名刺交換	①			会場入り
9:00	午前の部演習	①	自主研修	②	午前の部演習
9:30	(60分×3)				
10:00					
10:30					
11:00					
11:30					
12:00	(集合写真撮影等)				
12:30	講師質疑応答	①			講師質疑応答
13:00	自由交流 A	①	自由交流 A	①	休憩
13:30	自主研修	②	受付・名刺交換	①	
14:00			午後の部演習	①	午後の部開始
14:30			(60分×3)		
15:00					
15:30					
16:00					
16:30					
17:00			(集合写真撮影等)		
17:30			講師質疑応答	①	講師質疑応答
18:00	移動		移動		移動
18:30	自由交流 B		自由交流 B		自由交流 B

- 演習は3時間30分を原則とする
- 自主研修は有明の丘施設2F食堂スペースを利用し、各自PCを持ち込んで、eラーニングの受講、動画視聴、資料閲覧、テレワーク等を行う
- 自由交流Aは、演習会場で職位別コース相互の交流を行う(任意出席)
- 自由交流Bは、施設外で食事を取りながら行う(任意出席)

会場

- ① 1F会議室1～3(演習会場)
- ② 2F食堂スペース

3. 演習受講者の人的交流促進の手法について

A) 名刺交換会 (約15分程度)

- 1限目開始前に、演習の班内で名刺交換会を実施する
- コーディネーターや講師、他班受講者との名刺交換の機会は、交流会・質疑応答等の時間で確保する

B) 班編成の適正化

- 演習内容にあわせ、受講者の属性等を考慮し、議論や交流が活性化するように班編成を行う (コーディネーターと相談)

C) 交流会・質疑応答 (約1時間程度)

- 演習終了後、講義や演習に対する質疑応答を講師に行う
- 昼は演習会場で前後コース入れ替えの時間に交流会を行う
- 夜は有明施設外で交流会を設ける (コーディネーターと相談)
- いずれも任意出席とする (修了要件には含まれない)

D) オンライン掲示板の設置

- オンデマンド座学開始時からオンラインで交流できる掲示板を設置する
- 研修後も人材プラットフォームでの交流に移行できるよう検討

3. 演習受講者の人的交流促進の手法について

(参考) 令和元年度（対面研修）時の人的交流促進の手法

対面で実施していた令和元年度までに実施していた主な人的交流の手法は下記のとおり。

手法	取組み内容	期待する効果
名刺交換会	<ul style="list-style-type: none">当日、コーディネーターを交えた名刺交換会を実施する※実施タイミングは、1限目終了後、昼休み、閉講式後など	<ul style="list-style-type: none">名刺交換のタイミングを明示的に設け、積極的な交換を促すコーディネーターと交流する機会を確保する
演習グループ入れ替え	<ul style="list-style-type: none">演習でグループ検討を行う際に毎回異なる班割にする	<ul style="list-style-type: none">必ず毎回違う人と組み合わせることで交流の範囲を増やす
受講者の属性を考慮した班編成	<ul style="list-style-type: none">演習の内容に合わせて議論が活性化するように、受講者の属性（都道府県、地方、地域特性、防災経験年数、職位等）を考慮した班編成を行う	<ul style="list-style-type: none">演習内容に合わせた受講者を配置することで、議論が活性化する似た立場同士の繋がりを作る
交流会	<ul style="list-style-type: none">研修施設外または施設内の食堂で交流会を実施する	<ul style="list-style-type: none">受講者同士で交流する機会を増やす